

5) 健康と富と長寿

Rosy Pereyra, MD (ILC ドミニカセンター理事長)

「富は健康をもたらす」という仮説の基に、生涯にわたる健康と富の相関関係を追究する。

発達健康 (Developmental Health 心身の健康、能力、幸福、対応力。以下 DH)

これは社会環境の質の影響が大きい。また DH の格差は、神経内分泌系または「生物学的埋め込み」とよばれるプロセスに影響を及ぼす成長初期の経験に因るとされる。考えなければならない2つの点：1) 変貌する状況下で新たなアプローチを引き出すため、DH を強力に支援する力、2) 人類発展に直接的に結びつく日常の社会的実践を創造するコミュニティの力が重要である。DH の基礎をなす社会的な力を重視すべきである。DH と経済成長は、情報時代の特徴であるダイナミックな革新の中で基本的に相互依存の関係にある。潜在的利益を最大化する投資戦略の開発が求められる。DH への出費は個人の利益になるという考えから、社会への投資であるとの見方に変わる必要がある。

健康と社会経済状況の関係

病的状態、機能的限界など様々な健康についての分析結果から、社会経済状況と健康の間の重要な関係が報告されている。年齢層別に健康の社会経済的格差を分析したある研究では、健康の社会経済格差は、成人初期では小さく、中期、高齢初期でピークに達し、高齢後期では最小になる事が証明された。その一方、加齢につれて、学歴と所得の相違によって身体機能、幸福格差が拡大するという報告もあり、矛盾を解明するためにさらに研究が進められている。

社会福祉が乏しくかつ高齢化が急速に進んでいる国は、社会経済状態の健康への影響、さらに年齢による影響の相違を調べるのに適切な環境である。社会福祉水準が低いため、健康維持に個人や家族の財源が重要であるとする国では、保健面での社会経済状況の格差が拡大している。

健康の性差

社会経済状況の格差に因る健康の性差については、一致した証拠はない。健康と死亡率での社会経済状況の格差は女性より男性で大きいという結果がある一方で、社会経済状況と健康の間には何の性差もないという報告、女性の方が社会経済状況の強い影響を受けるとする結果もある。

韓国のように、女性は家族を支える存在と考える社会では女性の労働参加が低く、職業や所得面で女性の社会経済的立場が十分に反映されていない。労働関連の変数による健康の相違は、女性は男性より少なく、結婚が社会的地位獲得の重要手段となる。女性の間での社会経済的格差の分析には、女性個人の経済的性格よりも家族の社会経済的地位のレベルを考える必要がある。

健康、所得、長寿の関係

健康関連指標は、経済成長、所得増加に繋がる。世界で 4,000 万人を超えるエイズの流行は、所得拡大、貧困撲滅への努力を侵す深刻な問題である。健康と所得水準の間には非常に大きな関係がある。一人あたりの所得と寿命、乳児死亡率の間にも相関関係がある。個人と同様国レベルでも、健康人口が多い国は経済成長率が高く、健康は経済発展の原動力となる。健康な成人は労働力となり、健康人口の増加は労働人口の増加を導く。健康は、長寿を与え、退職貯蓄も増加する。この理論を証明する無作為抽出調査の一例がある。鉄のサプリメントで貧血症が減少、小さな健康への介入で大きな健康の改善を達成し、労働時間および所得が上昇した。健康への投資と経済成長の相関関係は、南米・カリブ諸国でも証明されている。19 カ国についての IMF データによると、GDP 総計は 2004 年では 1.9 兆米ドル。メキシコ、ブラジルで経済成長がみられ、アルゼンチン、ベネズエラが続いた。しかし、ラテンアメリカ経済は、国家間の格差が著しい。トップ 3 のメキシコ、ブラジル、アルゼンチンが GDP 全体の 73 パーセントを占める。メキシコの経済は、最も貧しいハイチの 188 倍である。

結論

健康と富の間には確かな関係がある。健康な人は経済的に恵まれ、健康な人を擁する国は経済成長率が高い。健康な成人は労働力となり、生産的で、長寿で、多く貯蓄する。寿命も GDP 成長に大きく影響する。寿命が 1 年伸びると GDP をおよそ 4% 上げる。寿命の伸びによって必要な退職収入が増え若年層の貯蓄も増加する。健康増進のコスト効果のある介入は、経済発展への効果的投資となりうる。